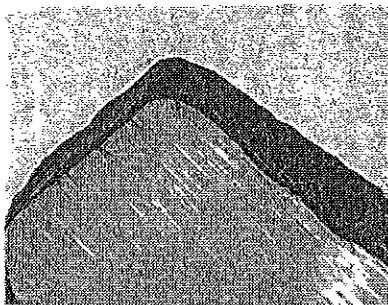


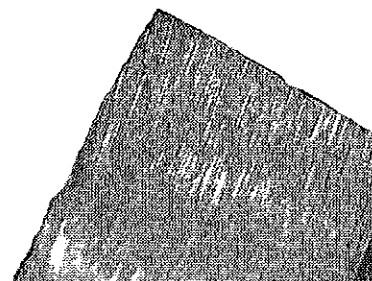
画期的な金型洗浄剤

金属被膜の形成抑える

ダイケミが開発、販売開始



従来品でADC12を溶解処理(70℃で4h)苛性金属被膜が生成され薬液の接触を阻害している



SPでADC12を溶解処理(70℃で4h)金属皮膜の生成は殆どない

毒劇物取締法に適用せず、扱い容易

ダイケミ(墨田区、高島 388・7646)は金型やアルミ、亜鉛の溶着金属を
義社長、TEL03・556 〇〇〇、周辺設備に付着した除去する洗浄で、金属皮膜を

の形成を抑制する洗浄剤「アルセンSP」を世界で初めて開発した。既存の同社製品より価格も抑え、このほど国内外向けに発売を始めた。
従来、アルミ合金を溶解洗浄すると苛性物と合金中のSi、Cu、Cr等が反応し、強固な苛性金属皮膜を形成して薬剤の浸透を阻害してきた。金属皮膜の形成をなくすことが課題ではあったものの解決法が難しく、これまででの洗浄剤開発では

皮膜をいかに壊すかに焦点をあてた取り組みメイン。この発想を転換し同社は一気に金属皮膜そのものをなくすことに挑戦。配合など同社ノウハウを結集し、手のかからない洗浄が可能となる洗浄剤を完成。ダイカストメーカー5社で実証試験を行い、好結果が出たため満を持して市場投入に踏み切った。

なお、同社は5年前からダイカスト金型洗浄剤の拡販に乗り出し、現在納入先は200社を超え、国内トップシェアを誇る。大手自動車各社のほかダイカスト専業大手から中小まで採用、さらに金型メーカーも「メンテナンスがしやすい」として使用している。

納入2百社超